第７回 地域スポーツクラブ種目別交流大会
（第７回地域 SC センチュリーカップ）
実施報告書

第 7 地域スポーツクラブ種目別交流大会

（第 7 地域 SC センチュリーカップ）　報告

1　日　時　　令和２年１月１２日（日）　９時４０分から１７時００分まで

2　会　場　　SUBARU 総合スポーツセンター　メインアリーナ

3　主　催　　東京都広域スポーツセンター

（公益財団法人東京都スポーツ文化事業団）

4　運営協力　　第７回地域スポーツクラブ種目別交流大会企画運営委員会

5　参加者　　９４名
※運営委員１４名、運営補助員９名、センター職員１０名、東京サンレーヴス選手とスタッフ５名含む。

6　参加ｸﾗﾌﾞ　　8 クラブ１５チーム

中央区地域スポーツクラブ大江戸月島（中央区）
港区総合型地域スポーツ・文化クラブ高松（港区）
新宿チャレンジスポーツ文化クラブ（新宿区）
南千住スポーツクラブ（荒川区）
NPO 法人総合型地域スポーツクラブ平和台（練馬区）
ベッセルスポーツクラブ（三鷹市）
府中市総合型 f－エフースポーツクラブ（府中市）
NPO 法人調和 SHC 倶楽部（調布市）
※東京都内地域スポーツクラブ一覧順

7　内容　　(1)東京サンレーヴスによるバスケットボール講習会・３×３ルール説明・選手との交流ゲーム
(2)交流試合（小学生の部・一般の部の予選リーグ戦及び決勝リーグ戦）
(3)フリースロー大会

開会式

本交流大会の大会会長である東京都広域スポーツセンター長・滝島浩子の挨拶に始まり、西尾競技委員長による会場案内及び試合方法説明、小内大会実行委員長による開会宣言が行われた。

滝島大会会長　挨拶

準備の様子

西尾競技委員長　ルール説明

小内大会実行委員長　開会宣言

企画運営委員の皆さん

参加者の様子

一日のスケジュール

プログラム		実施時間	参加者	対　象
バスケットボールクリニック＆3×3ルール解説	講師：東京サンレーヴス　運営統括部長　山本英司氏 他所属選手4名※別紙参照	10:00～11:45	3×3未経験者･初心者･経験者	都内地域スポーツクラブの会員･関係者（設立準備団体含む）
交流試合	各部門毎の①リーグ戦及び②順位決定リーグ戦 〇一般の部（中学生以上） 〇小学生の部	①10:00～16:00 ②13:30～16:00 ③13:30～16:00	56名 （15チーム）	
計		―	56名	―

開会式：クラブ紹介、大会補助員の紹介

開会宣言の後、本交流大会に参加した各クラブの代表者から自身のクラブの紹介を行った。今回は 8 クラブ 15 チームが参加し（一般の部 7 チーム、小学生の部：8 チーム）、総参加者数は 56 名であった。審判等の大会運営補助で参加いただいた調和ＳＨＣ倶楽部のバスケットボール部の紹介も行った。

全体の様子

補助員のみなさん（調和 SHC 倶楽部）

バスケットボールクリニック＆選手との交流試合

午前中は、東京サンレーヴスによる、参加者全員を対象としたバスケットボールクリニックを実施した。ウォーミングアップを丁寧に行った後、ケガ予防のためのトレーニングを行い、３×３のみならず、広くバスケットボール実践者に向けたクリニックを実施した。その後は東京サンレーヴス現役選手と一緒に全チームとゲームを行った。３×３だけでなく、バスケットボール全般で活用できるウォーミングアップやスキルを教わり、真剣な表情で参加していた、また、現役選手との交流ゲームでは、一転して笑顔溢れる、楽しい機会となった。

交流試合：予選リーグ戦

午後からは、小学生の部は２つのリーグ（1 リーグ 4 チーム）に分かれてリーグ戦を行った。その後それぞれのリーグの上位１位及び２位が上位リーグ戦を行った。参加者の体格差や経験差もあったが、白熱した試合が各コートで繰り広げられていた。プレー中は歓声も上がり、観客も楽しんでいる様子であった。

インフルエンザの影響で、当日一般の部が１チーム減ってしまい、小学生の部は８チーム、一般の部は７チームで実施した。

小学生の部（予選リーグ）

一般の部（予選リーグ）

小学生の部（予選リーグ）

一般の部（予選リーグ）

小学生の部（予選リーグ）

一般の部（予選リーグ）

予選リーグの結果待ちの様子

結果待ちの中のハーフタイムショー

交流試合（決勝リーグ）

一般の部（決勝リーグ）

小学生の部（決勝リーグ）

一般の部（決勝リーグ）

小学生の部（決勝リーグ）

一般の部（決勝リーグ）

ベンチの様子

フリースロー大会

閉会式・表彰式

　閉会式・表彰式では、滝島大会会長より各部門の１位、２位と、下位リーグ５位のチームに賞状と副賞のボールが授与された。また、フリースロー大会ではコート毎に上位３位までが表彰された。